

長崎県知事賞

魅力ある経営体部門 経営強化の部



受賞者名：築城 ついき 慎一 しんいち・順一郎 じゅんいちろう・建太郎 けんたろう

市町名：対馬市

主な取組：アナゴ料理を対馬の食文化に押し上げ、新たな観光資源として活用し地域を活性化

1. 取り組みの概要

- ①漁労・統括（長男）、加工（三男）、飲食（次男）を三兄弟で分担し、アナゴで有機的に繋がった6次産業型の経営を展開。未利用であった上対馬北西漁場を開発するとともに、島内アナゴ漁業者と連携したイベント等での積極的な宣伝活動により、島内外に対馬産アナゴの知名度を向上させ、消費需要を定着させた。
- ②高鮮度なアナゴを生産地で加工し、島内飲食店や島外小売店、都市部の量販店等へ生産者価格で提供。また、魚料理店を開業し、様々なアナゴ料理のメニューを開発するとともに、来島者等への食事と地域特産品の提供を行っている。

2. 受賞理由

- ①高鮮度高品質のアナゴ原料のみを生産者価格で提供することにより、高い顧客満足度を得て、安定経営を実現。対馬産アナゴの知名度向上による生産者価格の安定や、地元へのアナゴ提供が飲食店の定番メニュー化に繋がるなど、アナゴの食習慣に乏しかった対馬にアナゴ食文化を根付かせたことが評価された。
- ②アナゴを活用した宣伝活動は、日韓観光客の増加に大きく貢献しており、対馬の新たな観光資源として定着。開業した魚料理店「すし処 慎一」「島めし家 北斗」は、上対馬地区のグルメスポットとして重要な役割を果たすとともに、地域雇用も生み出しており、地域を牽引する三兄弟の活動は益々期待されている。

